

幼児の教育と一錢玩具の話

松 前 福 廣

二六

一、ムキ(當てもの)

之は子供の生活の中に可成の重大さを占めてをります。

人間に射倖心ミか投機的な心持が除去られてしまはない限りに於て、斯うした方法は常に行はれませう。子供に對して喰込むよい商賣の方法ミして。

先づ御存じの方もあるでせうが、見逃して居られる方々のために一應説明致しませう。當てものミ云ふのが一番の適言かも知れませんが、一枚の紙に小さく巻いた紙が張つてあつて、この紙に當りはづれの圖形が書いてあります(それを一つ一錢ミか、二つ一錢ミか云つて買ふのです。するミ一つに對して當りの時は大きな賞品を呉れ、はづれは小さなものを呉れるミ云つた様なわけで有ります。この紙に張つてあつてそれをムクミ云ふが、「ムキ」の言源であり、其の原形であります。現在では小さな形に紙を折つ

たもの、三分四方位の大きさに切つてあるもの。二枚合せでその中に印刷してあるもの、キャラメル of 包紙の中に札の入れてあるもの、甘納豆の袋の中に入れてあるもの、ミ云つた様に原形のムキは餘り店先になく、變形したミ云つてよいのでありますか、進歩した形ミ云つてよいのでありますか、一寸見ては判明しない様にしてあります。

而してこのムキ、當てもの種類を申しますと、一軒の問屋であづかつてゐるものは先づ二十種より三十種に及んでゐる様で有ります。然しこの種の中で一番多く出るものは何ミ申しましても、キャラメル・スルメ・甘納豆・アングスの四種が大關格を爲してをります。それで甘納豆では一ヶ月一萬五千圓から二萬五千圓の賣上をする製造兼問屋が東京に二軒もあるミさへ聞いて居ります。又スルメでは、この「當てもの」製造家が當てものにスルメを使用するかしない

かみ云ふ事が、市場の相場を左右した事さへあつたき聞いて居ります。

斯うした様な材料から考へてみますと、少くとも一月に二、三十萬圓云ふお小遣ひが斯うした投機的方法に使はれ、子供を毒してゐる云つてよいのであります。子供を毒してゐる云ふことには二つの意味があるので、一つは衛生的に毒してゐるのでありまして、他は教育的な意味で有ります。何にしるこの當てものを駄菓子屋なり、小玩具屋なり、文房具屋(學校前)なりが問屋から買つて來る時には、一組いくら云つた様に當物のムキ札ミ賞品である菓子ミ揃へて買つて來るのでありますから、一組は終りになる迄一組であるのであります。ですから従つて一組が賣れて了ふ迄残されてゐる。やがて中には「かび」が生えてくるさか、濕つてベトーになつてくるさか、水物を使つたムキでは沈澱が生じてくるさか、要するに細菌の増殖に一番便利な形になつてくるのであります。斯うした様に商品として製造家や問屋の手を離れる場合には比較的に不衛生の状態になくても、それが小賣商の手に渡つてからは必ず

しもそれが不衛生的に取扱はれてゐないとは云へないのであります。いはんや、その製造からしてが問題なのであります。

又教育的の方面から申しますと、前記したメンコ(ペイ)の場合にはそのゲームの面白さか運動さか、心理的影響云つた複雑な問題がありますが、このムキの場合にはただ一錢でよい大きなものを引きあてる云ふ、萬一の機會を捕へやうとする一つのトバクの心理に過ぎないのであります。大人の生活にして考へるミ丁度花合せや麻雀にお金をかけて勝負するのミ、サイコロで偶數が出たら、奇數が出たら云つてお金をかけて勝負するのミ同様なのであります。即ち花合せも麻雀も決して始めから悪いゲームでもなく、たゞお金をかけてトバクに使用することによつて悪が生じてくるのであります。ですからゲームに對して興味を増すためにお金をかけるのであります。サイコロでお金をやりこりする場合にはなりませぬお金をやりこりするためにサイコロが使用される云つた様に、前者ミ主客が轉倒してしまふのであります。即ち今申述べた様な事情がム

キミメンコ、ベイの場合にも等しく考へられる事なのであります。たゞ賞品を取りたいためにその札を買つて高い品物であることを知りながら一錢を出して偶然を機して買つてみるミ云ふ事になつてゐるのであります。

この様にムキにこり出すミ子供は一度に五錢も拾錢もお小遣ひを使ふ場合が出来てくるのであります。惡の芽生や習慣がそうした處に生じる場合が可成多くあるのであります。

こんなわけでこのムキを子供達の世界から取り去りたいミ私達は願ふのでありますが、警察關係であるミか、學校方面でやかましく子供達に干渉されても依然として子供達の世界から斯うしたものゝ姿は消えません。一時バツミなくなつたかと思つてゐるミすぐまた賣られるミ云つた様に、又干渉者の目にまららない様な形式になつて賣られるミかする様になつて商品化されてくるのであります。ですからその品については極力賣られなくなる様に運動するより外に方法はないのであります。

二、前項と其他の使用法を兼ねたもの

石ケリ・ラムチダマ・オハジキの様なものになります。その使用のされ方一つで善惡兩方の玩具になつてしまふのであります。これらのものミお金ミかへて見るミそれは現在漁師細民家庭の地區等に立派に〇〇トバクミ云はれてゐるものになるのであります。例へば一間乃至二間先に圓を重ねて書いて、その中にオハジキを投げこみ第一圓に入つたらいくら、第二圓に入つたらいくら、そのゲーム参加者より取るのでありますがこれらは前申しました立派なトバクであるのであります。又石けりで申しますミ四尺位はなした處に圓を書いてその中に石けりを入れて、これを自分の持つ石けりを投げて敵のものをはじき出すのであります。そうして外側に二重三重四重の圓が書いてあつて、その第〇圓の外に出た時に何ケの石けりを取るミ云つた様なゲーム法に使用されるのであります。勿論この場合のこの石けりはあまり面白い使用法によつて遊ばれてゐる玩具だミは申せません。然し石けりがほんさうの石けりに使用されてゐる場合、おはじきがおはじきに使用されてゐる場

合これらのゲームは決して悪いものだ云ふ事は出来ません。否善良な遊び方を持つてゐるものだ云つてよいのであります。

おはじきよ。おはじきのゲーム中に數を數へ、加減を教へ、おはじきによつてつくられる圖形に注意をさせ、自然の持つ統制力の美にその目を開かせる等、若しおはじきを子供達に遊び乍ら指導を加へるにすれば、その使用法の數は無限りなり、その玩具の有効さも無限大に擴大されるのであります。然しこれらの玩具が指導のない場合に如何なるか云申しますに、子供達の少い經驗と興味とによつてその遊び方を考案しますから、そのゲーム方法を如何様に考へてもそれは、「敵を負かす」「より多くしろ」云ふ事になつてしまふのであります。

云申しましても「石けり」本來の遊びである「石けり」の方法になるに、その源の石けりに改良を加へ創案を加へ、殆ど數へられない程多くその遊び方を發展さしてゐるのであります。

そう云つた意味からしてもこれら前二項に述べた玩具も子供の生活を誠によく把握したもので有り、之をよく指導

すれば壹圓拾圓の玩具にもまさる效用を持つ云つてよいのであります。

又これらの玩具の遊び方について見逃せないもう一つの実事實を東京での遊び方も、横濱での遊び方も、静岡仙臺濱に於ての遊び方も同様でありそう大いして變化がない云ふ事でありませぬ。又フランスにマールブルミ稱するこの種の遊びがあり、臺灣の生蕃中にもこの種のものがあり、近頃の爲替安から斯うした玩具の輸出も激増してゐるのであります。そうして日本の子供によく賣れるものは向ふへもよく行く云ふ事が玩具輸出商の言葉であります。子供の世界の興味は世界共通でありそれを遊ぶ人種の文化の程度を超越して共通であります。この種の玩具が數十年數百年の歴史を持ち乍ら原形の上に進歩がない、又形を進歩させても舊來の形のものが以前とて舊來の位置を保つてゐる云ふ事に注意されなければなりません。然し形の上では進歩がない云申しましたが勿論材料の上では進歩がない云申すものではありません。土製から貝殻ガイ小石に、それから焼いた土製のものから紙製とか硝子瀬戸焼等のものになつて

來てをります。従つて色彩も材料そのものが持つ特色ある色を持つ様になつてをります。

以上述べました様な事實から推して考へて見ましても、

玩具ミ人種の進化ミ子供の成長ミ云つた三つは結びつけられ、この三つの關係は我々が日常子供に接する上から見逃せない最も重要な事實であり證明であるのであります。ですから右に述べました通りに「遊び」は興味であり、本能的欲求でありますからこの方法を子供達の教育方法にあてはめる事が殊に幼児に取つては最も必要な事であります。「皆さん算術の時間です。五つに三つ加へるミいくつになりませう」「太郎さんが始め十錢持つてゐて紙を三錢買つてそれから二錢の筆を買つて、それからスミを買ふのに四錢つかひました。そうしたら今太郎さんはいくつ持つてゐるでせう」「ミすましこんだ窮屈な算術のお時間よりは」「今度は私の番五つ宛おはじきを出すのよ」「敗けてしまつたの」「それからあなたのおはじきはいくつ残つてゐるの」「ミ云つた興味を通して算術のお稽古をさせた方が少くミも幼児にはぎれだけか有効でせう。

三、ゲームもの

一項二項について餘り書き過ぎた様です。お許し下さい。第三項のものになりますミよく出來てゐるものはいよいものだミ云ふ事になります。闘技欲の變形がこの玩具になつてゐるのであります。先づ軍人將棋、軍人合せミ云つた様なものは陸海軍の將校の階級を教へ兵種を教へます。又動物合せは動物に對し親しみを持たせ、動物の概念を與へる様に出來ます。家族合せは家族制を教へ禮儀を教へる事が出來ます。斯様にして少しのヒッカ、リを利用して教育の精神をもしり上げるのも、教室外の教育ミして中々無視出來ないものがあります。殊に後述するものに(郵便あそび、銀行ごっこ、おまゝごこ等)なりますミ尙その感を深くいたします。

——乳幼児愛護週間のために時間がなく餘り多く書けなかつた事をお詫びいたします。